

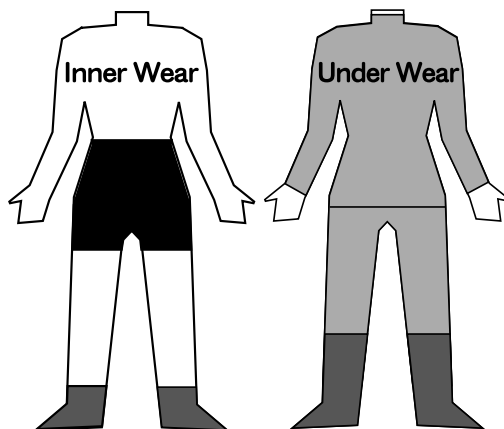
●アンダーウェアという安心

何を着ていけばいいのかが悩ましいこの時期だが、暑さ寒さに対抗する最も基本となるのがアンダーウェアだ。『下着なんて当然誰でも着てるよ』と言うなかれ、この場合の『アンダーウェア』は下着ではなく、いわゆる肌着のことだ。

普段下着の上に直接Tシャツやキャミソールなどの中間着を着、ズボンやスカートを履くという人が多く、手首足首近くまで身体全体を覆うアンダーウェアを着る習慣は無い、あるいは真冬のみ防寒のために着るだけという人が多いだろう。

しかし、こういった気候気温が暑いか寒いかに明確に分かれていない時期ほど、アンダーウェアは体温調整にもってこいなのだ。最近のこの手のものは大抵吸水性と速乾性があり、ついでに抗菌防臭加工なども施された優れた機能性ウェアなので、多少汗ばんでも汗冷えせず、一定の保温性があるのだから着る服を薄くできる。また、乾きが早いので万一突然の雨などで衣服が濡れてしまっても、下に化繊のアンダーを着ていれば寒さや不快感を大きく低減できると、たった1枚で何役もの効果があるのだ。

ただし、完全に日中の最も気温の高い時間帯しか活動しない前提ならば全身を覆うアンダーウェアはやや暑いかもしれない。自分の活動時間や待機時間を考えて袖や裾の短いものを着るなど微調整しよう。



●快適な服装を考えよう

アンダーウェアで基礎を押さえたらその上に着るものも最適化したい。主に安定した気温が期待できるのであれば、それほど難しく考える必要はないだろう。衣服自体は薄めにして上着やストールなどの羽織れるものを用意しておくのがベストだ。

また、陽射しが強くなることもあるので帽子や大判のタオルやスカーフといったものもほしい。

帽子も、防寒防暑、少しの雨への対策も兼ねる万能アイテムだ。ぜひ持っていきたい。

●気象情報をチェックしよう

暑いのか寒いのか、雨の可能性があるのか、同じGWの連休中であっても、日ごとに天候や気温が大きく変動するこの時期、自分が参加する日の気象状況をチェックするのは全参加者必須といえる。

幸い、今やネットを通じてスマホから随時最新かつその場所に合ったきめ細かい気象情報が簡単に得られる。

コミケット期間のみに限らず、普段から日々の気象情報をチェックする習慣をつけておき、それらの情報と実際の天候がどうリンクしているのかを把握できるようになっておけば、予測されるコミケット当日の天候や気温の変動に合わせて着衣や装備を最適化することができるようになるだろう。そして、時にそれらの予測を全く覆うような急激な天候変化もあり得るのだということは頭に置き、例えば全日快晴の予報が出ていても、急な雨や冷え込みに対する用意を最小限でも必ず持って行くようにしたい。

●日本全国の天気：気象庁ウェザーガイド：<https://www.jma.go.jp/jp/yoho/>

毎日午前5時、11時、午後5時に更新される。過去のデータを参照できるので天候の傾向を参考にしやすい。

●降雨情報：日本気象協会/アメダス：<https://tenki.jp/amedas/>

今現在どこにどのくらいの雨が降っているか、それがどう移動するかをリアルタイムで調べられるので、会場で天候が変わってきたら早めにチェックしよう。天気予報も見られる。

